

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハートフルホームぽっぽキッズ		令和8年 2月 25 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	○利用定員に対して十分なスペースを確保している。	○活動室に個室がないので個別に対応する場合の部屋が必要。応接室や静養室の利用。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0	○利用定員に対して適切な指導員を配置している。また、加配職員も1名配置している。	○トイレ介助は同性介助を基本としているため、男性職員の負担が大きい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	○おもちゃや絵本は子どもたちが取り出しやすい位置にあり、また、片付けがしやすいように棚や物にシールや番号をつけている○室内に段差はなくトイレも車いすで利用できる広さがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	○室内は子どもたちが過ごしやすいように清潔に保っている。また、机上活動の際は机や椅子を出すようにしているが、通常は運動や遊びがしやすいようにスペースを広く設けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	○活動室内に個室はないが、個別対応のために応接室や静養室などを利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	○定期的に職員会議を開き、目標が達成されたかを振り返り、評価や次の目標設定、活動計画等の作成を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	○今年度も保護者の方にアンケートをお願いし、その結果やご意見をもとに業務改善を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	○朝、夕のミーティングと職員会議で意見を出し合ったり、今後の対応や活動内容を決めたりしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60	40	○第三者委員会は設置しているが、定期的に外部評価を受けていない。	○第三者委員会にアンケート等でご意見を頂く。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	○外部研修には積極的に参加し、また研修後は伝達研修や勉強会を行い支援の質の向上に努めている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	○今年度、支援プログラムを作成しホームページ上で公表している。	○支援プログラムの内容に基づき偏りのないよう活動計画を立てる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	○必要に応じてアセスメントを行い、子どもの課題や保護者のニーズを把握し、個別支援計画に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	○個別支援計画を作成するときには、原案検討担当者会議を開き、全職員でこどもの様子や課題について検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0	○個別支援計画が作成された際は、全職員で共有し計画に沿った支援を行うようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	○標準化されたアセスメントツールを使用している。また、インフォーマルなアセスメントについても日々記録に残すようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	○個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の項目と支援内容を盛り込み、具体的な活動や支援の方法についても記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	○毎月、会議を開き、活動プログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	○自立訓練や生活訓練は継続的に繰り返し行っているが、その他の活動は固定化しないように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	○自立訓練やコミュニケーション能力を育てるレクリエーション、外部講師による専門的な療育など、こどもの状況や課題を踏まえながらサービス計画（活動計画）を作成し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	○毎朝、前日の申し送り、今日のスケジュール等を確認するためにミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	○毎夕、ミーティングを行い、日誌に記録し、翌朝のミーティングで確認し共通理解している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	○日々、個別に記録を取り、振り返りや今後の支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	○適切な時期にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100	0	○活動計画を立てる段階でできるだけ偏りがないように工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	○個別活動の時間は指先訓練や製作などを提示し、自分がやりたいものを選択できる場面も取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	○主に児童発達支援管理責任者が会議等に参加している。	○担当者会議等で話われたことは、全職員で情報共有しその後の支援に活かしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	○当事業所では協力医療機関として小児科のある医院と連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80	20	○学校送迎時に行事についてお知らせをしてもらったり情報交換や情報共有をしたりしている。	○行事や下校時刻については、HPでも確認していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0	○当法人内にある児童発達とは移行支援期間を設け、子どもと放課後デイの職員との顔合わせや子ども同士の交流会などを行っている。	○他園からくる子どもについても相談員の方や保護者からの情報をもとに相互理解に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0	○当法人内の生活介護へ移行する場合は、卒業前から少しずつ交流を行い、また移行支援会議で情報提供もしている。	○他の事業所からも申し入れがあれば情報提供ができるように準備していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0	○事業所内で解決できない事案が発生した際は、相談事業所を通して地域支援センターの方に相談したりアドバイスを頂いたりするようにしている。	○機会があれば積極的に研修に参加する、
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	100	○コロナ禍以降、他の児童施設との交流はできていない。ぜひ再開したい。	○近隣の保育所や学童と連携し交流会やイベントを計画していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	○参加できる職員が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	○日頃の様子は送迎時に伝達したりLINEでお知らせしたりしている。また、個別支援計画作成時にしっかり共通理解を行うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	100	○ペアレントトレーニングの支援はできていない。今後、職員のペアレントプログラムへの参加から始めていきたい。	○家族支援に関する研修会を計画したり、外部での講演会等のご案内を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	○契約時に担当職員が書面を見ながら説明を行っている。また、不明な点等があればご理解頂けるように丁寧に説明するように心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	○個別支援計画を作成する場合は、保護者にアセスメントシートをご記入頂き、家庭での様子や困りごと、今後の希望などを教えて頂くようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0	○個別支援計画ができたなら、「個別支援計画」を示しながら丁寧に説明をさせていただき、保護者から同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	○子育ての悩みや相談があれば職員で情報共有し適切な助言や支援が行えるようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	20	80	○今年度は保護者会を行っていないが、今後、子育てをテーマにした懇親会や兄弟児交流会なども計画していきたい。	○保護者のニーズに応じた保護者会の形を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	○苦情窓口を設置し、保護者からの苦情や要望は真摯に受け止め、全職員で共通理解をしたのち適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0	○毎月、法人のHPに、活動の様子やイベントの写真などを載せて情報発信をしている。また行事がある時には事前にお知らせするようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	○個人情報がかかれていた書類等は鍵の掛かる場所に保管している。また、写真の掲載等には特に注意している。	○外部の目にふれるものについては細心の注意を払う。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	○書面や写真、LINE、HP等、その時々にあった情報伝達の方法でお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20	80	○今年度も近隣の高齢者施設にお伺いし、手作りのプレゼント渡しとダンスや歌の交流会を実施した。感染症の心配がなくなれば、地域交流も再開していきたい。	○地域の方に当事業所について知ってもらい、開かれた事業運営をめざす。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	○当法人で各種対応マニュアルを作成し冊子にして保護者に配布している。（キッズのしおり）また、マニュアルに沿った訓練も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	○毎年BCPに沿った地震による災害訓練を保護者にも参加してもらい実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100	0	○服薬や予防接種がある時はお知らせをお願いしている。また、てんかん発作や病院を受診するようなことがあった場合もお知らせいただき状況を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	80	○現在、食物アレルギーによる医師の指示書が出ている子どもはないが、アレルギーがある子どもへの食事やおやつ提供については保護者に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	○安全計画を作成し、必要な訓練や研修等を行っている。また、室内外の安全点検を毎月行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0	○安全計画に基づき行った活動や交通安全室等はHPやSNSで発信し周知できるように努めている。	○安全確保に関しての家族との連携が図れるような取り組みを増やしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100	0	○アクシデントやインシデントがあった場合は記録に残し再発防止に努めている。また、管理者会議の際に法人内でも情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	○法人内で虐待防止委員会を設置し全職員で研修を行っている。また、啓発ポスターを掲示したり、セルフチェックを行う事で虐待防止の風土づくりを行っている。	○職員研修だけでなく、日ごろからチームでの支援を心がけ、職員のメンタルヘルス対策を行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	60	40	○当法人ではいかなる場合も身体拘束は禁じられているため、重要事項説明書にその旨を記載している。		